

令和八年度 東京都立東久留米総合高等学校定時制課程 第二十回入学式 式辞

薄雲が去り、新たな門出を祝福するかのよう、青空が広がり始めた、今日の佳き日に、東京都立東久留米総合高等学校定時制課程第二十回入学式を挙げるにあたり、御来賓の方々、並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、心から御礼を申し上げます。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。

只今、入学を許可した『十八名』の新入生の皆さんは、本日から、東久留米総合高等学校定時制課程の一員となります。

皆さんの若々しいエネルギーが本校に加わることを、在校生と教職員一同、心から祝福し歓迎いたします。

今、皆さんは、新たな高校生活に向けて、期待に胸を膨らませ、ワクワクしていることでしょう。

本校は、総合学科高校であり、皆さんは、自分で自分に合った時間割を考え、「自分を見つける」「自分を伸ばす」「自分を活かす」ことができる、様々な体験をすることができます。また、「自ら考え・行動し・発言しながら」、他者の失敗を認め合い、仲間と助け合うことができる学びの場です。

「夢に続く扉を開こう」をコンセプトとしたキャリア教育では、中学校での職業調べや地域学習を一步進め、自分自身と深く向き合い、社会の構造を理解することで、将来の夢を具体的に描き、育てていきます。

物事を調べ、仮説を立てる学びを通じて、「チャンスの扉は、どこにでもある」ことを胸に秘め、学習の基礎力を固め、「出来ないこと」を「出来ること」まで磨き上げ、「社会を生き抜く力」を身につけていくことを期待しています。

学校行事においては、生徒方と一緒に企画立案し、共同的に運営していくスタイルです。

苦手なことがあってもいいので、自分の長所を最大限に活用して、仲間と協力し、新しいアイデアを考え、乗り越えていく力を身につけてほしいと思います。

私たちは今、VUCA と呼ばれる、先行きが不透明で変化が激しい時代を生きています。新入生の皆さんは、本校の特色ある学びを最大限に活用し、失敗を恐れず、何事にもチャレンジしてください。

どんなことでも、第一歩を踏み出した人は主役になれます。夢を持って進みましょう。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。

今日まで、お子様の歩みを時に悩み、温かく支えてこられた、これまでのご苦勞に、深く敬意を表します。

高校生活は、親の手を離れ、自らの足で歩き出す「自律」のプロセスです。

お子様が迷い、葛藤する姿を目の当たりにし、不安を感じる場面もあるかもしれません。しかし、その試行錯誤こそが「夢に続く扉を開く」エネルギーとなります。

本校は、生徒一人ひとりの「主体性」を尊重し、温かく見守る土壌であり続けます。皆様には、本校の教育方針へのご理解を賜りますとともに、お子様の新たな挑戦を、ぜひ共に、支えていただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日、御臨席いただきました御来賓の方々、連携いただいている地域の皆様、そして、保護者の皆様に対し、本校に対する変わらぬ御理解と御支援をお願い申し上げると共に、教職員一同、全力で教育に邁進（まいしん）していくことをお約束し、式辞といたします。

令和八年四月七日

東京都立東久留米総合高等学校長 小澤 信敬